

# 上谷の丘

「自分も他者も大切に 考え行動し 挫けずやり抜く子どもを育てる」

## 授業参観 ありがとうございます

先日行われました、授業参観・保護者会には、お仕事等でお忙しい中、子供たちのためにご出席いただき感謝申し上げます。上谷小の授業参観への出席率の高さには昨年度も驚かされましたが、今年度もお子様のために足を運んでいただいたことは校長としても嬉しく、そして誇らしく思います。

## 子供たちの成長

お子様たちの学校での様子はいかがだったでしょうか。子供たちは、これまでの学習の成果を自分なりにまとめ、工夫しながら発表するとともに、自らの成長を振り返り、頑張ってきたことや周囲の支えへの感謝の気持ちを言葉にして伝える姿を見せてくれました。その姿から、一人一人の確かな成長を感じることができました。

その中で、たんぽぽ・すみれ学級の授業では、「自分の成長」や「自分のよさへの気付き」をテーマとした発表が行われました。特別支援学級では、自立活動として、「学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識・技能・態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を培う」ことを目標に、日常的に学習を積み重ねています。子供たちは、自分の気持ちとの向き合い方や、人との関わり方について学びながら、少しずつ自分なりの成長の歩みを進めています。

発表の中で、ある子は、学習で分からなかったりできなかつたりすると、はじめのうちはすぐに怒ってしまっていたものの、努力してできるようになった経験から、「はじめからできなくてもよいことを学びました。まだ気持ちが落ち着かないこともあります。これまで頑張ってきたことを思い出して、投げやりにならないようにしていきたいです」と発表しました。自分自身を見つめ、変化を実感しながら前に進もうとする姿に、大きな成長を感じました。

また別の子は、交流学級での学習の際、教科書を持って行くのを忘れてしまいましたが、勇気を出して友達に声をかけることができました。その結果、友達が教科書を貸してくれ、一緒に学習することができたそうです。「がんばって声をかけてよかった」「これからも勇気を出して、多くの人と関わっていきたい」と語る姿からは、人との関わりを通して自信を育んでいく様子が伝わってきました。同時に、自然に受け入れ支えようとする周囲の子供たちの姿にも、学校として大切にしてきた温かな関係性の育ちを見ることができました。

## 教師、大人の役割

今回の授業参観を通して、改めて教師、そして子供を支える大人の役割について考えさせられました。子供が自分のよさや努力に気付き、自信をもって歩んでいけるようにするためには、結果だけを見るのではなく、その過程に寄り添い、対話を通して思いや考えを丁寧に引き出していくことが重要です。適切な言葉かけや問いかけによって、子供自身が気付き、成長を実感できるよう支えていくことが求められます。

また、子供が「やってみよう」「学びたい」と主体的に挑戦できるよう、安心して取り組める環境を整えることも教師、大人の大切な役割です。そして、物事は一人で成し遂げることが難しく、互いに支え合いながら進んでいくものであることを、日々の学校生活の中で実感できるよう、子供同士をつなぎ、仲間と協力する経験を支えていくことも欠かせません。

子供たちは、日々の関わりや経験の積み重ねの中で、自分自身の可能性に気付き、少しずつ成長していきます。私たち教職員一同、これからも一人一人の思いに寄り添いながら、子供たちが安心して挑戦し、自分らしく成長していける学校づくりに努めてまいります。

最後に、今年度も本校の様々な教育活動にご理解ご協力をいただき、誠に感謝申し上げます。ありがとうございました。